



アートプロジェクト「FUKUOKA×YAME REMIX」第二弾 アートウィーク「八女の大名家会」を開催！

九州大学大学院芸術工学研究院附属ソーシャルアートラボ（SAL）は、2017年2月4日（土）～12日（日）、アートウィーク「八女の大名家会」を開催します。

福岡の都心に位置する大名と、茶畑が広がる八女の里山。現在はまったく異なる風景ですが、その上で暮らす人々の営みを見つめていくと、いくつかの共通項が浮かび上がってきます。本企画では、SALに関わる教員・アーティスト・学生・社会人受講生・LOVE FMの人気DJが、これらの地域で暮らす人たちと対話をしながら、2つの時空間をアートの手法で重ね合わせるを試みます。昭和初期の木造民家を舞台に、トークや音楽ライブで茶の文化を深掘りする「松楠居の茶三昧」、古民家での展示やワークショップを通して、水をめぐる土地の歴史と人々の生活に思いをはせる「縁側のながれ」など、期間中にさまざまなアートイベントが展開されます。

SALは、社会の課題にコミットし新しいつながりを生み出す芸術実践（＝ソーシャルアート）の研究に携わっています。今年度は、実践的なアートマネジメント人材育成や、都市間交流を促すアートプロジェクトの可能性を探る目的で、アートプロジェクト「FUKUOKA×YAME REMIX」を実施しています。本企画は10月の「アートバスツアー」に続く、第2弾のイベントとなります。

主催者からひとこと：

近年、地域と関わり芸術作品を創作する動きが全国で広がっていますが、その検証は十分に進んでいるとは言えません。SALでは、今回実践するアートウィークの取り組みを、実施プロセスから検証することを通じて、社会におけるアートの新しい可能性に言及することを目指しています。八女をテーマにしたさまざまな表現が大名地区に広がる9日間、どうぞご期待ください。



しょうなんきよ
メイン会場「松楠居」内観



本企画を運営する人々

アートプロジェクト「FUKUOKA×YAME REMIX」及びイベント詳細は特設サイトをご覧ください。

<http://www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/fukuokayameremix/>

【お問い合わせ】九州大学大学院芸術工学研究院附属ソーシャルアートラボ

電話：092-553-4552 FAX:092-553-4552

Mail: sal@design.kyushu-u.ac.jp

ART PROJECT

FUKUOKA × YAME REMIX



武家屋敷と職人の仕事場の痕跡を残す「大名」の町並み。
格子状になった町の随所に「八女」の自然と風土に育まれた茶を配する試み。
それが「八女の大名茶会」です。
大名の一角にある「松楠居」という昭和初期の木造民家を舞台に
いくつもの茶の出来事が展開します。
その出来事を縫うように、網の目になった大名の通りに出現する
小さな「茶事」が人と場をつないでいきます。

Photo © Lan Hirano



2017

2.4 sat
/
2.12 sun

さまざまに仕掛けられた茶が織りなす網目。
そのなかで自在に結びつく「茶の交差点」をたどってみる。
ゆったりと八女の茶に興じる大名茶会。

八女の大名家茶会

松楠居の茶三昧

2月10日(金)～12日(日)
松楠居

縁側のながれ

2月4日(土)～12日(日)※
エンジョイスペース大名
(※月曜休み)

庭先の照花

2月6日(月)～11日(土)
八女本舗

九州大学ソーシャルアートラボ
TEL & FAX: 092-553-4552
MAIL: sal@design.kyushu-u.ac.jp

FUKUOKA×YAME REMIX 特設ウェブサイト
www.sal.design.kyushu-u.ac.jp/fukuokayameremix



◇ 松楠居の茶三昧 (ディレクション：藤枝守)

期間：2月10日(金)～12日(日)

会場：松楠居

松楠居を舞台に繰り広げられる茶の三日間。トーク・シリーズ「茶をかたる」やゲーム感覚の「闘茶会」をはじめ、筑前琵琶によるライブ「茶を弾じる」、そして、八女の茶の電位変化に基づく藤枝守の新作「茶の植物文様」がクラヴィコードによって演奏されます。さらに、十六夜(いざよい)にあたる最終日には、月を愛でながらの箏歌「月読の植物文様」に続き、八女の樋(はぜ) 鯛鯛のなかで歌美な「十六夜の夜想茶会」が展開します。茶がいざなう「三昧」の世界に、どうぞ、お越しください。

インスタレーション「松楠居を結ぶ」：武内貴子(現代美術家)

空間展示協力：平野蘭(Artphoto)

進行：藤枝守

2月10日(金) プロローグ：茶につどうタベ

19:00 トーク+ワークショップ「闘茶会」 ●

ゲスト：小森耕太(NPO法人山村塾) 原島政司(お茶の千代乃園)

2月11日(土) part I：茶をかたる一日

13:30 茶をかたる(1)「茶の発酵」 ●

茶とあそぶ「茶八変化を楽しむ」

上原美奈子(「夢見る茶畑」代表) ゲスト：原島政司

16:00 茶をかたる(2)「結納茶と水引」 ●

長澤宏美(博多水引デザイナー)

18:30 茶を弾じる「筑前琵琶ライブ」 ★

寺田蝶美(筑前琵琶)

2月12日(日) part II：月読の夜想茶会

13:30 茶をかたる(3)「万(yorozu)の茶」 ●

徳淵卓(万(yorozu)亭主) ゲスト：山口真也(星野製茶園)

16:00 クラヴィコードによる「茶の植物文様」 ★

砂原悟(クラヴィコード)

18:30 「月読の夜想茶会」 ●

第一部：箏歌ライブ「月読の植物文様」

中川佳代子(箏歌)

第二部：パフォーマンス：「十六夜の夜想茶会」

徳淵卓(茶人) 濱田理恵(舞) 中川佳代子(箏)

渡辺融(笙) ガムラン倶楽部「ルー」

◇ 縁側のながれ

(ディレクション：ジェームズ・ジャック、企画特別協力：大田こぞう、制作：「地域づくりとアート」実践プログラム受講生)

期間：2月4日(土)～12日(日) 月曜休み

会場：エンジョイスペース大名

福岡と八女。一見異なる二つの場所ですが、日常を織りなすさまざまなレイヤー(層)に目を向けると、両者のつながりが浮かび上がってきます。「石から砂へ」というメタファーを用いて福岡と八女の間にある時間と空間を想起し、「ながれ」について思いを巡らす参加型展示。二つの場が混在する「縁側」で新しい体験が広がります。

◇ 庭先の照花

(制作：九州大学ホールマネジメントエンジニア(HME)育成プログラム受講生)

期間：2月6日(月)～11日(土)

会場：八女本舗

「八女の再発見」をコンセプトに、電照菊など、八女の隠れた魅力をお伝えします。天神の街中で里山の空気を感じられる展示を行います。

ART PROJECT

FUKUOKA × YAME REMIX 八女の大名家会

九州大学ソーシャルアートラボが平成28年度に実施している、福岡市内と八女市をつなぐアートプロジェクト「FUKUOKA × YAME REMIX」。本年10月に実施したアートバスツアー「里山を編む～天神・奥八女バスの旅～」に続く第二弾の企画では、福岡市中央区大名地区を拠点にしたプロジェクト「八女の大名家会」を実施します。本企画では、「松楠居の茶三昧」、「縁側のながれ」、「庭先の照花」を通して、大名の格子の上に浮かび上がる八女を感じ、楽しむ如月のひとときをつくり出します。

ディレクション：藤枝守(総合)、池田美奈子(広報)

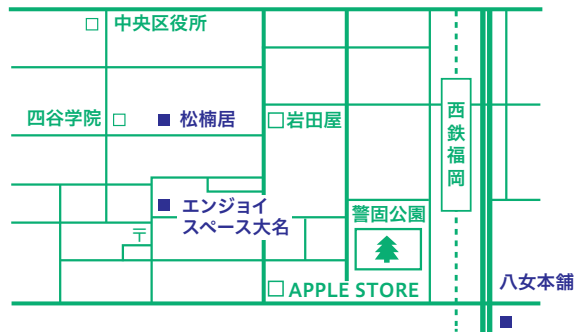
ジェームズ・ジャック(「縁側のながれ」企画)

企画特別協力：大田こぞう(LOVE FM「月下虫音」DJ)

企画・制作：九州大学ソーシャルアートラボ

「地域づくりとアート」実践プログラム受講生

九州大学ホールマネジメントエンジニア(HME)育成プログラム受講生



松楠居



■松楠居
福岡市中央区大名2丁目1-16
■エンジョイスペース大名
福岡市中央区大名1丁目14-20
■八女本舗
福岡市中央区渡辺通5丁目23-8

【チケット情報】

松楠居でのイベントは有料です。(和菓子・八女茶付き)【定員 各回30名】

通しチケット

→ 11日(土) 3,000円

→ 12日(日) 5,000円

個別イベントチケット

● 1,000円、★ 2,500円、● 3,000円

発売日：2017年1月10日(水)

発売所：スリーオクロック(郵送販売) [TEL] 092-732-1688

チケットぴあ [TEL] 0570-02-9999 (Pコード：634-664)

※エンジョイスペース大名と八女本舗のイベントは入場無料です。

お問い合わせ：九州大学ソーシャルアートラボ

TEL: 092-553-4552 MAIL: sal@design.kyushu-u.ac.jp

主催：九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ

共催：公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団

後援：福岡県、福岡市、八女市、日本アートマネジメント学会九州部会

協力：ラフエフェム国際放送株式会社、八女市商観光課

八女本舗運営協議会、NPO法人山村塾

助成：平成28年度 文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」